

教育部

(単位：円)

教育総務課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	02	小学校施設費	138～139	
政策 4	人を育むまち		事業名		小学校施設管理事業（繰越明許費分）				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
5, 504, 000		5, 503, 680		—		320		100. 0%	
1 事業目的		藤小学校のプールろ過装置の老朽化が進み、プール使用時の水質基準が保てない恐れがあるため、プールろ過装置本体とその周辺機器を交換する。							
2 事業内容		■藤小学校プールろ過装置交換修繕 ・修繕期間 平成28年2月16日から平成28年6月6日 ・修繕概要 ろ過装置本体交換 1基 付帯機械設備交換 1式 ろ過装置本体製造、据付、配管・配線接続、試運転調整 他							
3 成果		■本修繕の実施により、プールろ過装置の機能回復を図ることができた。							

(単位：円)

教育総務課		一般会計																											
		款		項		目		決算書頁																					
		10	教育費	02	小学校費	02	小学校施設費	138～139																					
政策 5	将来を見すえた市政運営		事業名		杉下小学校用地取得事業																								
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率																				
100,800,000		100,800,000		0		0		100.0%																					
1 事業目的		杉下小学校用地を取得し、借地の解消を図る。																											
2 事業内容		■杉下小学校用地の土地所有者からの買取要求に応じ、杉下小学校用地を取得する。 ・所在 大字五味ヶ谷字杉下251番13 ・取得面積 4,800㎡ ・地目 学校用地 ・区分 行政財産 ・取得日 平成28年10月17日 ・登記完了日 平成28年11月4日 <table><tr><td></td><td>購入前①</td><td>購入後②</td><td>増減②－①</td></tr><tr><td>杉下小学校用地</td><td>26,217㎡</td><td>26,217㎡</td><td>0㎡</td></tr><tr><td>借地</td><td>12,128㎡</td><td>7,328㎡</td><td>△4,800㎡</td></tr><tr><td>市有地</td><td>14,089㎡</td><td>18,889㎡</td><td>4,800㎡</td></tr><tr><td>賃借料</td><td>月額624,077円</td><td>月額375,436円</td><td>△248,641円</td></tr></table>									購入前①	購入後②	増減②－①	杉下小学校用地	26,217㎡	26,217㎡	0㎡	借地	12,128㎡	7,328㎡	△4,800㎡	市有地	14,089㎡	18,889㎡	4,800㎡	賃借料	月額624,077円	月額375,436円	△248,641円
	購入前①	購入後②	増減②－①																										
杉下小学校用地	26,217㎡	26,217㎡	0㎡																										
借地	12,128㎡	7,328㎡	△4,800㎡																										
市有地	14,089㎡	18,889㎡	4,800㎡																										
賃借料	月額624,077円	月額375,436円	△248,641円																										
3 成果		■小学校の借地については、『借地問題解消に向けた基本方針』において、土地所有者からの申し出があった場合に買い取る借地と位置付け、申し出の都度、用地取得を行ってきた。今回の取得分を含めてこれまでに約18,889㎡を取得しており、市の大きな課題である借地の解消を進めることができた。																											

(単位：円)

教育総務課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	03	中学校費	02	中学校施設費	142～143
政策 4	人を育むまち			事業名	中学校施設管理事業（繰越明許費分）			
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率		
5,729,000	5,728,320	—		680	100.0%			
1	事業目的	富士見中学校のプールろ過装置の老朽化が進み、プール使用時の水質基準が保てない恐れがあるため、プールろ過装置本体とその周辺機器を交換する。						
2	事業内容	■富士見中学校プールろ過装置交換修繕 ・修繕期間 平成28年2月16日から平成28年6月6日 ・修繕概要 ろ過装置本体交換 1基 付帯機械設備等交換 1式 ろ過装置本体製造、据付、配管・配線接続、試運転調整 他						
3	成果	■本修繕の実施により、プールろ過装置の機能回復を図ることができた。						

(単位：円)

学校教育課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		10	教育費	01	教育総務費	02	事務局費
政策 4	人を育むまち		事業名		入学準備金貸付事業		
予算現額		支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率	
2,504,000		1,702,945	0	801,055	68.0%		
1 事業目的		高校、大学及び専修学校に入学を希望する者の保護者で、入学準備金の調達が困難なものに対し、入学準備金の貸付けを行い、有為な人材の育成に資するとともに、教育の機会均等に寄与することを目的とする。					
2 事業内容		■入学準備金貸付審査会 開催回数：2回 委員数：3人（教育部参事、健康福祉部長兼福祉事務所長、学校教育課長） ■入学準備金の貸付 平成28年度貸付者：6人（高等学校及び専修学校（高等課程）1人、大学及び専修学校（専門課程）5人） ・高校等 貸付者 1人 貸付額 200,000円 ・大学等 貸付者 5人 貸付額 1,500,000円 合計 貸付者 6人 貸付額 1,700,000円					
3 成果		■入学準備金の調達が困難なものに対し、入学準備金の貸付けを行うことで、教育の機会均等に寄与することができた。					

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	01	小学校管理費	138～139	
政策 4	人を育むまち		事業名		小学校校務情報化推進事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
4,743,000		4,480,000		0		263,000		94.5%	
1 事業目的		情報の共有化、作業の効率化及びセキュリティの強化の向上を図るため、教職員 1 人 1 台を目標としたパソコンの整備。							
2 事業内容		■小・中学校職員室電源等改修工事 校務用パソコンの配置を教職員 1 人 1 台へとしていくための学校施設の条件整備として、電源口数確保のための配線等の対応を図っていく必要があることから「小・中学校職員室電源等改修工事」を実施した。 ■情報セキュリティ研修会 教職員の情報セキュリティ意識の向上を図るため、全校の県費教職員を対象とした「情報セキュリティ研修会」を平成 28 年 8 月 5 日の午前と午後の 2 回開催した。 講 師 鶴ヶ島市 IT アドバイザー 斉藤 実 氏 演 題 「IT 時代の危機管理を学ぶ」 参加者 小学校 107 名 中学校 80 名							
3 成果		■職員室の各事務机への電源が確実に整然と配備され、校務用パソコンの増設整備を進めていくための環境改善を事前に図ることができた。 ■今後の校務用パソコンの増設整備にあたり、セキュリティ問題の最新の情報提供と情報の取り扱いに関する日常校務上の注意喚起を図ることができた。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	138～139	
政策 4	人を育むまち			事業名	小学校教育振興事業（繰越明許費分）				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
3,314,000		3,297,780		—		16,220		99.5%	
1 事業目的		小学校における教育効果を向上させるうえで必要な教材備品を整備するものである。							
2 事業内容		■教材備品整備 学校の I C T 環境の整備に必要な備品を購入し、児童の学習環境を充実させた。 ・電子黒板機能付液晶ディスプレイ式 8 台（各校 1 台） ・書画カメラ（実物投影機） 8 台（各校 1 台） ・デジタルカメラ 8 台（各校 1 台）							
3 成果		■本事業の整備により電子黒板が各学校複数台となり授業での活用がしやすくなった。また、電子黒板と書画カメラ等関連機器との連動によって、教材や画像の拡大提示や示範作業など授業の効果的な展開が期待できるようになり、学習環境の一層の充実を図ることができた。							

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	138～139	
政策 4		人を育むまち		事業名		児童就学支援事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
29,295,000		28,607,084		0		687,916		97.7%	
1 事業目的		児童の保護者に対し、経済的な負担を軽減し、必要な支援を行うことで義務教育の円滑な実施が行えるようにする。							
2 事業内容		■児童就学援助 平成28年度事業概要 援助内容：学用品費、通学用品費、新入学準備費、校外活動費、修学旅行費、医療費、学校給食費 支給月：学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費は、年3回（8月、12月、3月）、新入学準備費は6月末日、学校給食費は毎月、医療費は随時。 支給状況：要保護 7世帯 7人 132,967円 準要保護 349世帯 455人 27,543,304円 合計 356世帯 462人 27,676,271円 ■特別支援教育児童就学奨励費 平成28年度事業概要 支給内容：学用品・通学用品購入費、新入学児童学用品・通学用品購入費、校外活動等参加費、修学旅行費、学校給食費（以上、保護者実費の1/2）及び通学費（保護者実費） 支給月：保護者の申告等に基づき年3回（10月、1月、3月） 支給状況：対象児童60人 支給者30人 867,093円 ■日本語未習得児童支援経費 平成28年度事業概要 内 容：日本語を殆ど話せない海外から帰国した日本国籍児童に対し、補助となる通訳者を24日派遣した。 事業費：報償費 60,000円 保険料 3,720円 合計 63,720円							
3 成果		■児童の保護者の経済的負担を軽減することにより、義務教育が円滑に実施できた。 ■特別支援教育を要する児童の保護者への経済的負担を軽減することにより、就学の奨励を図ることができた。 ■児童の日本語習得に非常に効果があった。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	138～141	
政策 4	人を育むまち		事業名		小学校コンピュータ教育推進事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
15,852,000		15,837,481		0		14,519		99.9%	
1 事業目的		学習指導要領に基づき学校における情報教育の充実を図るとともに、児童に情報教育をとおして情報機器の選択や活用できる資質、能力の育成を図ることを目的とする。							
2 事業内容		■コンピュータ教育のための機器等の保守及び更新管理 ・各小学校のパソコン教室に設置しているパソコン等の保守管理 教師用パソコン 1台 児童用パソコン 40台 その他、サーバー等の機器を設置 ■教員を対象としたICT活用研修会や情報モラル教育研修会 ・生徒指導主任及び視聴覚・情報教育主任研修会 開催日 平成28年8月31日 講師 株式会社グリーン社員 内 容 講演「正しく怖がるインターネット～事例に学ぶ情報モラル～」 参加者 20人（市内小中学校教員） ・ICT活用研修会 開催日 平成28年10月19日 講師 株式会社内田洋行社員 内 容 実技演習「電子黒板及びタブレット端末の活用の仕方」 参加者 14人（市内小中学校教員）							
3 成果		■参加教職員は、最新の個人情報の流失事例を通じて、改めて情報モラルの重要性を意識することができた。 ■参加教職員は、各学校で校内研修の指導者として、自校の教職員の情報モラル意識を高める啓発を行うことができた。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	140～141	
政策 4	人を育むまち		事業名		小学校図書館図書整備事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
6,246,000		6,227,100		0		18,900		99.7%	
1 事業目的		児童の豊かな人間性を育むために、読書活動の充実を図ることを目的とする。							
2 事業内容		■ 学校図書館の図書や資料の充実 ・ 図書及び新聞等の購入 平成28年度図書購入冊数 2,730冊 ■ 学校図書館システムの保守管理及び操作研修会 ・ 学校図書館システム 各小学校に設置 ・ 学校図書館システム操作研修会 2回実施							
3 成果		■ 児童の本の貸出・返却手続きがスムーズになり、読書や選書の時間を確保することができた。 ■ 今年度の貸出等のデータを活用し、次年度以降の図書購入の際の参考資料とすることができた。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	140～141
政策 4	人を育むまち		事業名		小学校学力向上推進事業			
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率		
22,958,000	22,834,870	0		123,130	99.5%			
1 事業目的	主体的に学ぶ姿勢、基礎学力の定着により子どもたちの確かな学力と自立する力を育むことを目的とする。							
2 事業内容	■小学校学習支援員 個々に応じたより細かな学習支援体制を確保し、わかる授業・伸ばす授業を実現するため、各校1名の学習支援員を配置し、基礎学力の定着、学習意欲の向上のための指導の充実を図った。 学習支援員 各小学校1名配置 （計8名） ■小学校算数学力向上支援員 学習のつまずきを早期に解消するために、掛け算九九や四則計算をはじめとした基礎学力の定着を目的として、小学校に算数学力向上支援員を配置し、放課後のびのび算数教室の指導の充実を図った。 算数学力向上支援員 各小学校3～4名配置 （計26名） ■小学校理科観察実験支援員 小学校の理科の観察・実験等の時間に「理科観察実験支援員」を配置し、理科教育の充実・活性化を図った。 理科観察実験支援員 各小学校1名配置 （計8名） ■小学校算数学力向上備品整備 市内小学校で実施している放課後のびのび算数教室等で活用するために、学習支援ソフトが入ったタブレットPCを購入した。 これまでのプリント等による学習に加え、学習支援ソフトを用いることにより、さらに個に応じた学習内容の復習や多くの練習問題の提供をすることができるようになり、放課後のびのび算数教室等の取組をさらに充実させる。 タブレットPC及び学習支援ソフト （63台購入）							
3 成果	■小学校算数学力向上事業である“放課後のびのび算数教室”では、この教室に参加している児童の学力調査結果が、前年度よりも向上することができた。次年度は、今までのプリント学習だけではなく、購入したタブレットも活用してさらなる充実を図っていきたい。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	140～141	
政策 4		人を育むまち		事業名		小学校学校応援団支援事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
1,101,000		898,061		0		202,939		81.6%	
1 事業目的		「学校応援団」にボランティアとして保護者や地域住民の参加を促し、学習支援、安全指導、環境整備などの活動を通して、学校・家庭・地域が一体となって子どもの育成を推進する。							
2 事業内容		■推進委員会及び担当者会議 ・学校応援団推進委員会 2回実施 ・学校応援団コーディネーター連絡会議 1回実施 ・県のコーディネーター研修会で使用された資料をコーディネーターへ配布し、情報提供を行った。 ・各校の取り組みの情報交換を行い、学校応援団のさらなる充実のための研修会を行った。 ■新規ボランティア導入の推進 ・新規ボランティアの募集について、近隣市町の良い取組を研修会等の時に、学校応援団コーディネーター等へ情報提供を行った。 ■学校応援団活動の周知や新規ボランティアの募集 ・学校便り、学校のホームページや市の広報を活用して、情報発信を行った。							
3 成果		■学校応援団コーディネーターが中心となって、各学校で連絡協議会を開催し、学校が必要とする応援団業務について、事前の連絡調整等を行うことができた。そのため、学校が必要とする学校応援団員の人数の確保と共に、それぞれの活動を通じて、地域、保護者と学校の協力体制がより充実することができた。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	140～141	
政策 4	人を育むまち		事業名		小学校国際性を育む教育推進事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
4, 007, 000		3, 931, 200		0		75, 800		98. 1%	
1 事業目的		外国語指導助手を配置し、小学校英語教員の支援や小学校外国語活動の充実を図り、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成することを目的とする。							
2 事業内容		■外国語指導助手（ALT） 英語の標準的な発音に慣れたり、外国の生活について興味関心を高めながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するため、外国語指導助手（ALT）を小・中学校に派遣した。また、外国語指導助手（ALT）を講師とし、小学生を対象に親子英会話教室を開催した。 1 ALT 1名配置 4校兼任 鶴ヶ島第一小学校 鶴ヶ島第二小学校 長久保小学校 藤小学校 2 ALT 1名配置 3校兼任 新町小学校 杉下小学校 栄小学校 3 ALT 1名配置 2校兼任 南小学校 南中学校 4 親子英会話講座 開催期間 平成28年7月26日～平成28年7月28日 対象者 小学生 参加人数 小学生33人 その他、保護者も参加							
3 成果		■外国籍の外国語指導助手を配置し、小学校での外国語活動の時間にネイティブな英語を定期的に体感させることで、児童の英語に対する興味関心を高めるとともに基本的な英会話を習得させることができた。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	140～141	
政策 4	人を育むまち		事業名		笑顔あふれる活動応援事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
3,820,000		3,817,573		0		2,427		99.9%	
1 事業目的		学校の教育活動を充実させるとともに、地域の人々や活動等に役立つなど、児童と地域の人々の笑顔に結びつく物品の購入を目的とする。							
2 事業内容		■備品購入 各小学校からの要望書をもとにヒアリングを実施し、次の事項を踏まえ学校教育課内で購入物品を選定し、物品の購入を行った。 1 児童が学校や地域で活躍するために役立つもの。 2 学校の教育活動の充実、地域の人々の活動等に役立つなど、児童と地域の人々の笑顔に結びつくもの。 3 小学校からの優先順位を考慮する。 ■主な購入品 ・鼓笛隊で使用する衣装や楽器を購入することができた。 ・授業の充実とともに、学校行事等でも使用する楽器、音響機器等の購入をすることができた。							
3 成果		■楽器等の購入により、より充実した鼓笛隊を編成することができた。また、授業の充実が図られるだけでなく、学校行事等で購入品を活用することにより、地域や保護者にも喜ばれるものとなり、子どもの地域の笑顔につながった。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	03	中学校費	01	中学校管理費	142～143	
政策 4	人を育むまち			事業名		中学校校務情報化推進事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
3, 170, 000		2, 957, 200		0		212, 800		93. 3%	
1 事業目的		情報の共有化、作業の効率化及びセキュリティの強化の向上を図るため、教職員 1 人 1 台を目標としたパソコンの整備。							
2 事業内容		■小・中学校職員室電源等改修工事 校務用パソコンの配置を教職員 1 人 1 台へとしていくための学校施設の条件整備として、電源口数確保のための配線等の対応を図っていく必要があることから「小・中学校職員室電源等改修工事」を実施した。 ■情報セキュリティ研修会 教職員の情報セキュリティ意識の向上を図るため、全校の県費教職員を対象とした「情報セキュリティ研修会」を平成 28 年 8 月 5 日の午前と午後の 2 回開催した。 講 師 鶴ヶ島市 I T アドバイザー 斉藤 実 氏 演 題 「I T 時代の危機管理を学ぶ」 参加者 小学校 1 0 7 名 中学校 8 0 名							
3 成 果		■職員室の各事務机への電源が確実かつ整然と配備され、校務用パソコンの増設整備を進めていくための環境改善を事前に図ることができた。 ■今後の校務用パソコンの増設整備にあたり、セキュリティ問題の最新の情報提供と情報の取り扱いに関する日常校務上の注意喚起を図ることができた。							

学校教育課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	142～143
政策 4	人を育むまち		事業名		中学校教育振興事業（繰越明許費分）			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
2,071,000		2,028,780	—		42,220		98.0%	
1 事業目的		中学校における教育効果を向上させるうえで必要な教材備品を整備するものである。						
2 事業内容		■教材備品整備 学校の I C T 環境の整備に必要な備品を購入し、生徒の学習環境を充実させた。 ・電子黒板機能付液晶ディスプレイ式 5 台（各校 1 台） ・書画カメラ（実物投影機） 5 台（各校 1 台） ・デジタルカメラ 5 台（各校 1 台）						
3 成果		■本事業の整備により電子黒板が各学校複数台となり授業での活用がしやすくなった。また、電子黒板と書画カメラ等関連機器との連動によって、教材や画像の拡大提示や示範作業など授業の効果的な展開が期待できるようになり、学習環境の一層の充実を図ることができた。						

(単位：円)

学校教育課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費
政策 4	人を育むまち		事業名		生徒就学支援事業		
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		執行率	繰越除く執行率	
31,249,000	29,499,629	0	1,749,371		94.4%		
1 事業目的	生徒の保護者に対し、経済的な負担を軽減し、必要な支援を行うことで義務教育の円滑な実施が行えるようにする。						
2 事業内容	■生徒就学援助 平成28年度事業概要 援助内容：学用品費、通学用品費、新入学準備費、校外活動費、修学旅行費、医療費、学校給食費 支給月：学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費は、年3回（8月、12月、3月）、新入学準備費は6月末日、学校給食費は毎月、医療費は随時。 支給状況：要保護 3世帯 3人 148,286円 準要保護 276世帯 310人 28,830,594円 合計 279世帯 313人 28,978,880円 ■特別支援教育生徒就学奨励費 平成28年度事業概要 支給内容：学用品・通学用品購入費、新入学生徒学用品・通学用品購入費、校外活動等参加費、修学旅行費、学校給食費（以上、保護者実費の1/2）及び通学費（保護者実費） 支給月：保護者の申告等に基づき年3回（10月、1月、3月） 支給状況：対象生徒23人 支給者13人 520,749円						
3 成果	■生徒の保護者の経済的負担を軽減することにより、義務教育が円滑に実施できた。 ■特別支援教育を要する生徒の保護者への経済的負担を軽減することにより、就学の奨励を図ることができた。						

(単位：円)

学校教育課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		10	教育費	03	中学校費	03 中学校教育振興費	144～145
政策 4	人を育むまち		事業名		中学校コンピュータ教育推進事業		
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率
14, 439, 000		14, 428, 602	0		10, 398	99. 9%	
1 事業目的		学習指導要領に基づき学校における情報教育の充実を図るとともに、生徒に情報教育をとおして情報機器の選択や活用できる資質、能力の育成を図ることを目的とする。					
2 事業内容		■ コンピュータ教育のための機器等の保守及び更新管理 ・ 各中学校のパソコン教室に設置しているパソコン等の保守管理 教師用パソコン 1 台 生徒用パソコン 40 台 その他、サーバー等の機器を設置 ■ 教員を対象とした I C T 活用研修会や情報モラル教育研修会 ・ 生徒指導主任及び視聴覚・情報教育主任研修会 開催日 平成 28 年 8 月 31 日 講 師 株式会社グリー社員 内 容 講演「正しく怖がるインターネット～事例に学ぶ情報モラル～」 参加者 20 人（市内小中学校教員） ・ I C T 活用研修会 開催日 平成 28 年 10 月 19 日 講 師 株式会社内田洋行社員 内 容 実技演習「電子黒板及びタブレット端末の活用の仕方」 参加者 14 人					
3 成果		■参加教職員は、最新の個人情報の流失事例を通じて、改めて情報モラルの重要性を意識することができた。また、中学校では、全国的にスマホ所持率が高いことや実際に学校で生徒同士のSNSを通じてのトラブルについても指導しているため、生徒の情報モラル意識を高める必要性を改めて感じることができた。					

(単位：円)

学校教育課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	144～145
政策 4	人を育むまち		事業名		中学校図書館図書整備事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
5,428,000		5,408,406	0		19,594		99.6%	
1 事業目的		生徒の豊かな人間性を育むために、読書活動の充実を図ることを目的とする。						
2 事業内容		■学校図書館の図書や資料の充実 ・図書及び新聞等の購入 平成28年度図書購入数 2,572冊 ■学校図書館システムの保守管理及び操作研修会 ・学校図書館システム 各中学校に設置 ・学校図書館システム操作研修会 2回実施						
3 成果		■生徒の本の貸出・返却手続きがスムーズになり、読書や選書の時間を確保することができた。 ■今年度の貸出等のデータを活用し、次年度以降の図書購入の際の参考資料とすることができた。						

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	144～145	
政策 4		人を育むまち		事業名		中学校学力向上推進事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
6,854,000		6,853,350		0		650		100.0%	
1 事業目的		主体的に学ぶ姿勢、基礎学力の定着により子どもたちの確かな学力と自立する力を育むことを目的とする。							
2 事業内容		■中学校学習支援員 個々に応じたより細かな学習支援体制を確保し、わかる授業・伸ばす授業を実現するため、各校1名の学習支援員を配置し、基礎学力の定着、学習意欲の向上のための指導の充実を図った。 学習支援員 各校1名配置 (計5名)							
3 成果		■担当教諭と連携を図り、中学校学習支援員が教科指導の補助に入ることができた。そのため、一斉指導では理解に時間のかかる生徒に対しても、より細かな学習支援を行うことができた。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	144～145
政策 4	人を育むまち		事業名		中学校学校応援団支援事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
612, 000		531, 767	0		80, 233		86. 9%	
1 事業目的		「学校応援団」にボランティアとして保護者や地域住民の参加を促し、学習支援、安全指導、環境整備などの活動を通して、学校・家庭・地域が一体となって子どもの育成を推進する。						
2 事業内容		■推進委員会及び担当者会議 ・学校応援団推進委員会 2回実施 ・学校応援団コーディネーター連絡会議 1回実施 ・県のコーディネーター研修会で使用された資料をコーディネーターへ配布し、情報提供を行った。 ・各校の取り組みの情報交換を行い学校応援団のさらなる充実のための研修会を行った。 ■新規ボランティア導入の推進 ・新規ボランティアの募集について、近隣市町の良い取組を研修会等の時に、学校応援団コーディネーター等へ情報提供を行った。 ■学校応援団活動の周知や新規ボランティアの募集 ・学校便り、学校のホームページや市の広報を活用して、情報発信を行った。						
3 成果		■学校応援団コーディネーターが中心となって、各学校で連絡協議会を開催し、学校が必要とする応援団業務について、事前の連絡調整等を行うことができた。前年度までの環境整備に加え、今年度は、授業補助の場面での応援事業を行う学校もでてきた。中学校の教育活動に関わる場面が増え、地域、保護者と学校の協力体制がより充実することができた。						

学校教育課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		10	教育費	03	中学校費	03 中学校教育振興費	144～145
政策 4	人を育むまち		事業名		中学校国際性を育む教育推進事業		
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率
24,962,000		24,252,384	0		709,616	97.2%	
1 事業目的		市費英語教員や外国語指導助手を配置し、中学校英語教員の支援や小学校外国語活動の充実を図り、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成することを目的とする。					
2 事業内容		■外国語指導助手（ALT） 英語の標準的な発音に慣れたり、外国の生活について興味関心を高めながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するため、外国語指導助手（ALT）を小・中学校に派遣した。 各中学校へALT 1名配置（南中学校のALTは、南小学校兼任） ■市費英語教員 中学校英語教員の支援によって小学校外国語活動の充実を図り、小中一貫した外国語教育を進めるため、市費英語教員を中学校に配置した。 各中学校へ市費英語教員を1名配置 ■英語教員の指導力の向上に向けた研修会 ・小中一貫外国語教育推進事業に係る外国語活動推進研修会 開催日 平成28年7月22日 講師 上智大学 教授 藤田 保 氏 内 容 講演「小学校英語が目指すもの～現在の外国語活動の位置づけ、そしてこれから～」 参加者 22人					
3 成果		■外国籍の外国語指導助手を配置し、英語の授業では、ネイティブな英語を生徒に体感させることによって、正しい発音を身につける一助とすることができた。					

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	144～145	
政策 4	人を育むまち		事業名		がんばる部活動応援事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
5,400,000		5,397,764		0		2,236		100.0%	
1 事業目的		中学校部活動の地域行事への参加や大会で優秀な成績を収められるよう部活動の環境整備に必要とする物品を購入する。							
2 事業内容		■備品購入 各中学校からの要望書をもとにヒアリングを実施し、次の事項を踏まえ学校教育課内で購入物品を選定し、物品の購入を行った。 1 傾斜配分 県大会上位入賞または関東大会以上に出場の実績のある部活動に関する備品及びそれぞれに準じる重要性がある備品を選定。 2 等配分 学校に提示した次の3点に基づき、学校からの購入希望の優先順位が高い備品から選定する。 (1) 地域の行事等に優先順位が高い備品から選定する。 (2) 今までの実績を踏まえ、平成28年度にさらに力を入れて取り組み、具体的な達成目標（県大会〇位、〇〇大会入賞等）が明確にされていること。 (3) その他、特に学校として重点的に取り組みたい部活動。 ■主な購入品 ・運動部備品、吹奏楽部備品、グラウンド整備備品							
3 成果		■昨年度、様々な大会で優秀な成績を残した部活動やそれに準じる部活動に対して、活動に際して必要とする備品を購入し、さらなる活躍につなげられるようにすることができた。							

(単位：円)

教育センター		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	01	教育総務費	03	教育センター費	136～137
政策 4	人を育むまち		事業名		教育相談・いじめ防止対策事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
7,078,000		7,002,260	0		75,740		98.9%	
1 事業目的		児童、生徒、保護者の学校に関わる悩み等に応じる相談員や小・中学校巡回相談員を配置することによって、不登校等の問題解消を図る。						
2 事業内容		■教育相談員の配置 ・教育相談員 一般職非常勤職員 1 人配置 教育センターでの来所相談、電話相談に対応した。不登校児童生徒への支援を行った。 ■小・中学校巡回相談員の配置 ・小学校巡回相談員 一般職非常勤職員 2 人配置 ・中学校巡回相談員 一般職非常勤職員 1 人配置 小中学校相談室における児童生徒、保護者及び教員の相談に対応した。 ■臨床心理士の配置 ・臨床心理士 1 人配置 児童生徒、保護者への支援及びカウンセリング、教職員に対する指導・助言、児童生徒及び未就学児への知能検査等を実施した。 ■教育講演会 中学校進学が目前となる小学 6 年生の保護者を中心に、市内小中学校の全児童生徒保護者を対象に、県内の問題行動の状況や思春期の子育ての重要性についての講演会を実施した。 ・開催日 平成 29 年 2 月 12 日（日） ・会 場 市役所 ■児童生徒配布用相談窓口カードの印刷						
3 成果		■相談件数は年々増加傾向にあり、教育相談員、巡回相談員等の面接や電話相談の情報について学校と連携をとりながら、解決に向けての支援が図られた。 ■学校からの知能検査実施依頼が増え、臨床心理士による児童生徒、保護者への支援やカウンセリングが効果的に実施できた。						

(単位：円)

教育センター		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		10	教育費	01	教育総務費	03	教育センター費
政策 4	人を育むまち		事業名		学力向上対策事業		
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		執行率	繰越除く執行率	
506, 000	505, 384	0	616		99. 9%		
1 事業目的	学力下位層の学力を向上させるため、本市独自の「定着目標」を設定し、その達成を目指すとともに、学習習慣や生活習慣との関連を分析し、その改善を図る手立てを講じる。						
2 事業内容	■対象となる児童生徒の学力向上の実現に向けた具体的な取組 ・定着ドリル作成・活用 1 5月 学力向上推進委員会で確認と見直し、修正 2 9月 確認テスト①実施 3 2月 確認テスト②実施 ・個人カルテ作成・記録 ・自校の学力向上プラン作成・実施 ・個に応じた学習機会の充実 1 放課後のびのび算数教室での個別指導 2 加配教員による指導 3 サマースクール ■市内小学校の取組 ・学習ドリル等の作成・活用 ・個に応じた学習機会の充実 ・自校の学力向上プラン作成・実施 ・学び合いの授業の推進 ■授業研究会等 ・学力向上講演会 平成28年10月17日 ・学力向上授業研究会 平成28年11月9日 ・学力向上課題研究校内研修会 平成28年11月21日 ・学力向上国語授業研究会 平成28年12月5日 ■先進校視察 ・洗足学園中学・高等学校 ・幸手市立権現堂川小学校 ・習志野市立大久保小学校 ・春日部市立牛島小学校 ・入間市立向原中学校 ・上里町立上里中学校 ・熊谷市立中条中学校 17人参加						
3 成果	■定着ドリル等の活用や、個に応じた指導の取組から、対象となる児童生徒の学力に伸びがみられた。 ■授業研究会の実施により、学び合い学習の推進が図られた。 ■先進校視察の報告により、校内研修が充実した。						

(単位：円)

教育センター		一般会計						
		款		項		目	決算書頁	
		10	教育費	03	中学校費	03 中学校教育振興費	146～147	
政策 4		人を育むまち		事業名		運動部活動支援員活用事業		
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		執行率		繰越除く執行率
738,000		736,194		0		1,806		99.8%
1 事業目的		「運動部活動支援員」による専門的な技術指導を行うことで、部活動の充実・活性化を図る。 単独で指導・引率ができる「運動部活動支援員」を学校へ配置し、部活動指導を行うことによって、教職員の負担軽減を図る。						
2 事業内容		■運動部活動支援員の配置 ・運動部活動支援員 3人配置（平成28年10月～平成29年2月） 藤中学校 サッカー部 64日 富士見中学校 女子バスケットボール部 34日 南中学校 男子バスケットボール部 21日 学校の指導方針に沿った部活動指導全般、大会・練習試合の引率を行った。						
3 成果		■運営上の成果 ①初心者の指導への寄与 ②技術指導による技術、記録等の向上 ③指導による意欲の向上 ④生活指導によるマナーの向上 ⑤安全面での指導 ■各種大会への出場の状況 ・藤中学校（サッカー） 関東大会 ■単独での指導により、顧問教諭が他業務に従事することができた。						

(単位：円)

生涯学習スポーツ課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費	148～149
政策 4	人を育むまち		事業名		ふるさと意識醸成事業			
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		執行率	繰越除く執行率		
992,000	984,415	0	7,585		99.2%			
1	事業目的							
子どもたちの健やかな成長と異年齢・異世代交流の場の充実を図るため、各種関係団体や学校との連携により、ふるさと鶴ヶ島の自然や歴史、伝統文化の学習の機会としてつるがしま郷土かるた大会などのイベントを開催する。								
2	事業内容							
■ふるさと意識醸成経費 ・つるがしま郷土かるた大会 ふるさと鶴ヶ島の自然や歴史、伝統文化の学習及び異年齢・異世代交流の機会としてつるがしま郷土かるた大会を実施した。 開催日 平成28年12月18日 会 場 東市民センター ・ふるさと意識醸成イベント 脚折雨乞行事への理解を深めるとともに伝統行事の継承を支援するため、小学生にミニ龍蛇の担ぎ手体験の機会を提供した。 開催日 平成28年8月7日 会 場 雷電池周辺 ・総合的な学習の時間等を活用したかるた体験 ふるさと鶴ヶ島の自然や歴史、伝統文化を学習する機会として、かるた体験を実施した。 ■つるがしま郷土かるた改訂補助金 鶴ヶ島市子ども会育成会連絡協議会に補助金を交付し、現状と合わなくなった読み札、絵札の改訂を行った。改訂にあたっては、作品を市内小・中学生に募集して、改訂委員会による選考を行い、改訂札については小学校等の公共施設や現行のかるたを持っている市民等に無料で配布、交換を行った。								
3	成果							
■つるがしま郷土かるた大会に31人が参加した。 ■ミニ龍蛇イベントには小学生181人が担ぎ手として参加し、郷土の歴史・文化への理解を深めるとともに地域の伝統行事の継承を支援した。 ■小学校2校のほか地域支え合い協議会でかるた体験を実施した。 ■読み札、絵札各5枚を改訂し、2,000組印刷した。改訂札については公共施設や市民等に無料で配布、交換を行った。								

(単位：円)

生涯学習スポーツ課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	05	社会教育費	02	図書館費	148～149	
政策 4	人を育むまち		事業名		図書館運営事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
171,193,000		170,916,162		0		276,838		99.8%	
1 事業目的		鶴ヶ島市立図書館（中央図書館及び6分室）の管理運営に指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上と行政運営の効率化を図る。							
2 事業内容		■図書館協議会運営経費 市民の参画と協働による図書館運営を進めるため、図書館の諮問機関としての図書館協議会を開催し、指定管理者による図書館運営に関する審議等を行った。 第1回 平成28年10月20日 第2回 平成29年2月20日 ■図書館維持管理経費 鶴ヶ島市立図書館（中央図書館及び6分室）の管理運営に指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上と経費の節減を図った。 また、老朽化した施設の修繕や図書館用地及び駐車場用地借上料の支払いなど、中央図書館の維持管理に必要な業務を行った。							
3 成果		■図書館協議会を開催し、指定管理者による図書館運営及び子ども読書活動推進計画について審議を行った。 ■指定管理者制度の導入により、開館日増、開館時間を延長するとともに、若葉駅前カウンターに常駐スタッフを配置した。平成28年度は利用人数153,540人、利用冊数679,086冊と前年度に対して増加した。							

(単位：円)

生涯学習スポーツ課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	05	社会教育費	03	文化財保護費	148～151	
政策 4	人を育むまち			事業名		文化財保護保存事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
16,779,000		15,804,208		0		974,792		94.2%	
1 事業目的		市内指定文化財の保存保護、埋蔵文化財発掘調査及び文化財整理室の維持管理を行う。 高倉獅子舞保存会・脚折雨乞行事保存会の活動を支援する。							
2 事業内容		■文化財保存保護経費 ・地名「鶴ヶ島」発祥の地 脚折町一丁目地内 除草・松剪定業務 ・川崎平右衛門陣屋跡 大字高倉地内 除草業務 ■埋蔵文化財発掘調査経費 ・確認調査 国庫補助 16件 単 独 4件 ・発掘調査 国庫補助 1件 単 独 1件 ■高倉獅子舞保存会補助金 市指定無形文化財「高倉獅子舞」の実施に伴い、高倉獅子舞保存会に補助金を交付し、伝統行事の継承を支援した。 開催日 平成28年11月2日、3日 ■脚折雨乞行事保存会補助金 4年に一度の市指定無形文化財「脚折雨乞」の実施に伴い、脚折雨乞行事保存会に補助金を交付し、伝統行事の継承を支援した。 開催日 平成28年8月7日							
3 成果		■「地名『鶴ヶ島』発祥の地」、及び「川崎平右衛門陣屋跡」除草管理や「発祥地の松」の剪定等により維持保全を行った。 ■埋蔵文化財包蔵地内における開発等に伴う確認調査/発掘調査を実施した。1遺跡4地点の発掘の成果をまとめた埋蔵文化財発掘調査報告書を刊行した。 ■高倉獅子舞の保存・継承を支援した。 ■脚折雨乞の保存継承を支援した。 観覧者数約25,000人。							

(単位：円)

生涯学習スポーツ課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	05	社会教育費	03	文化財保護費	150～151
政策 4	人を育むまち		事業名		脚折雨乞支援事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
2,269,000		1,734,534	0		534,466		76.4%	
1 事業目的		国選択無形民俗文化財、市指定無形文化財「脚折雨乞」の魅力のPR及び後世への継承を支援する。						
2 事業内容		■脚折雨乞支援経費 ・会場設営等支援 観覧席、報道用ステージ、撮影用タワー設置（各1基） 記録映像（DVD15分）作成業務 ・観覧客休憩所の設置等 市役所ロビーに大型モニター（2台）による、中継視聴スペース設置 ・脚折雨乞PR ポスター、パンフレット、プログラムの印刷及び配布 広報「つるがしま」及び市ホームページに掲載 ・文化財展「脚折雨乞の変遷」 開催日 平成28年7月27日～8月7日 11日間 会場 市役所ロビー 展示内容 古文書・写真からたどる脚折雨乞の記録、龍蛇の部材、百鬼丸切り絵等の展示 ・東京2020公認文化オリンピック「キックオフイベント 埼玉の文化をぎゅーっと濃縮」への脚折雨乞行事保存会出演を支援 開催日 平成28年11月20日 会場 大宮ソニックシティ 大ホール 出演概要 ミニ龍蛇2体とスクリーン映像による脚折雨乞の紹介						
3 成果		■脚折雨乞のPRと観覧者等の受入や「もてなし」にかかる部分について、鶴ヶ島市産業観光まつり運営委員会等と連携し、若葉駅西口から雷電池までの誘客、猛暑における水分補給のための売店設置等、円滑な行事实施を支援した。 ■市政情報課・産業振興課と連携した内外PRによりミャンマー連邦共和国特命全権大使の観覧受入を支援し、海外メディアでの紹介等のPRができた。						

(単位：円)

生涯学習スポーツ課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	06	保健体育費	01	保健体育総務費	150～151	
政策 4	人を育むまち			事業名		市民スポーツ行事開催事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
2, 500, 000		2, 500, 000		0		0		100. 0%	
1 事業目的		各種関係団体との協働により、市民体育祭やつるがしま元気スポーツフェスティバルなどのイベントを開催し、市民スポーツの普及発展を図り、もって心身ともに健康な市民を育むまちづくりを目的とする。							
2 事業内容		■市民体育祭開催事業補助金 地域コミュニティの活性化と生涯スポーツの振興を図るため、NPO法人体育協会が主催する「市民体育祭」及び「陸上競技記録会」を支援した。 ・市民体育祭 開催日 平成28年10月9日 会 場 市内3会場（鶴ヶ島中学校、藤小学校、西中学校） ・陸上競技記録会 開催日 平成28年6月11日 会 場 川越運動公園陸上競技場 ■スポーツフェスティバル開催事業補助金 市民の健康増進と体力の向上を図ることを目的に、誰もが気軽にスポーツに親しむことができる総合的なスポーツイベントとして「つるがしま元気スポーツフェスティバル」を開催した。 開催日 平成28年11月6日 会 場 運動公園							
3 成果		■市民体育祭は、藤小会場区がグラウンドコンディション不良のため中止となった。鶴ヶ島中学校及び西中学校の2会場では、8, 547人の参加があった。また、陸上競技記録会は、107人（延べ194人）の参加があった。 ■スポーツフェスティバルは、健康マラソン、ステージコーナー、体験コーナーなど1, 088人の参加があった。							

(単位：円)

生涯学習スポーツ課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	06	保健体育費	01	保健体育総務費	150～151	
政策 4	人を育むまち		事業名		スポーツ推進団体支援事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
9,330,000		9,330,000		0		0		100.0%	
1 事業目的		市内スポーツ団体の統括組織である体育協会に補助金を交付し、体育協会が主催・共催・後援する各種スポーツ・レクリエーション事業を通じて、市民スポーツの普及発展を図り、もって心身ともに健康な市民を育むまちづくりを目的とする。							
2 事業内容		■体育協会補助金 9,330,000円 ・一般補助（運営費補助金） 7,179,000円 ・指定補助（事業費補助金） 2,151,000円 1 体育協会支部、スポーツ団体への助成金 2 スポーツ教室、講習会等事業費							
3 成果		■体育協会の法人化により、市職員による運営支援を縮小し、体育協会が自ら事務局運営やスポーツ振興事業などの企画を主体的に行い、スポーツ分野における公共の領域を担い始めるなど、大きな成果があった。							

(単位：円)

海洋センター		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	06	保健体育費	03	体育施設費	152～155
政策 4	人を育むまち		事業名		海洋センター運営事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率		繰越除く執行率	
30, 773, 000		30, 172, 628	0	600, 372	98. 0%			
1 事業目的		身近なスポーツ施設としての機能を保つため、適切な維持管理を行う。 また、海洋センター業務の一部を委託することにより、柔軟で効率的な施設の運営を行い、利用者サービスの向上を図るとともに、民間活力の活用を進め、費用対効果の高い施設運営を図る。						
2 事業内容		■海洋センター事務経費 ・海洋センターの運営に必要な事務経費 ■海洋センター維持管理経費 ・海洋センター窓口等業務をNPO法人体育協会に委託し、効率的な施設運営及び利用者サービスの向上を図った。 ・老朽化した施設の修繕を行うとともに、施設の適切な維持管理に努めた。 ■海洋センター施設備品整備経費 ・卓球台の更新整備						
3 成果		■身近なスポーツ施設としての機能を維持し、市民に安全なスポーツ活動の場を提供した。 ■海洋センター業務の一部を体育協会に委託することにより、費用対効果の高い施設運営を図ることができた。						